

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第27週
(2026年6月29日~2026年7月5日)

2026年7月8日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)		
		第26週	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週		増減	第1~27週
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)	(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)								
	インフルエンザ	310																					9670		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4044	18	31	Δ	4	9	Δ	3	5	Δ				11	16	Δ		1	Δ		0.08	Δ	1971	
	(定点医療機関数)																								
小児科定点	RSウイルス感染症	764	8	4	▽	2	2		5	2	▽				1		▽							668	
	咽頭結膜熱	1220	26	18	▽	11	3	▽	4	5	Δ				9	9		2	1	▽	0.29	0.14		340	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5076	132	127	▽	26	18	▽	48	39	▽	4	1	▽	28	44	Δ	26	25	▽	3.71	3.57		3340	
	感染性胃腸炎	10373	63	71	Δ	23	11	▽	21	41	Δ	5	4	▽	5	11	Δ	9	4	▽	1.29	0.57		3670	
	水痘	949	21	10	▽	5	1	▽	10	2	▽	4	1	▽		4	Δ	2	2		0.29	0.29		502	
	手足口病	10396	17	53	Δ	4	5	▲	4	11	Δ				1	5	▲	8	32	Δ	1.14	4.57		161	
	伝染性紅斑	135	2		▽	1		▽										1		▽	0.14			95	
	突発性発しん	759	2	21	Δ	2	5	Δ		5	Δ					9	Δ		2	Δ		0.29			241
	ヘルパンギーナ	2592	5	17	Δ					4	Δ					4	Δ	5	9	▲	0.71	1.29		42	
	流行性耳下腺炎	119	2		▽							1		▽	1		▽								13
		(定点医療機関数)																							
眼科定点	急性出血性結膜炎	4																						0	
	流行性角結膜炎	308		1	Δ	1	1.00	Δ																100	
	(定点医療機関数)																								
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	14																						1	
	クラミジア肺炎	4																						0	
	マイコプラズマ肺炎	108																						45	
	細菌性髄膜炎	7																						6	
	無菌性髄膜炎	19	1		▽										1		▽							4	
	(定点医療機関数)																								

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通信欄 >

〇トピックスで、「夏に流行する感染症」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感染症	年齢													合計	
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳		20～29歳
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
	インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									31
小児科定点	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	4
	咽頭結膜熱		1	12	2	2				1						18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	9	12	17	15	23	9	9	7	16		2	127
	感染性胃腸炎	2	6	13	5	9	3	9	4	2	3	5	9		1	71
	水痘						2		1	1	3	1		1		10
	手足口病		4	29	17	2					1					53
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	1	3	12	3	2										21
	ヘルパンギーナ			7	5	1		1	1	1		1				17
	流行性耳下腺炎															0

<全数把握感染症>

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		1				
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1		1	90日以内の海外渡航歴:無し(2)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1		
梅毒		1				第26週追加報告分

<トピックス>

夏に流行する感染症

夏に流行するウイルス感染症として、手足口病やヘルパンギーナなどがあります。これらの感染症は一般的に数日で軽快しますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。主に乳幼児を中心に数年おきの流行がみられ、山形県では手足口病は2024年夏から秋、ヘルパンギーナは2023年夏に大きな流行がありました。現在、全国ではどちらも7週連続で増加しており、山形県でも増加傾向がみられるため注意しましょう。

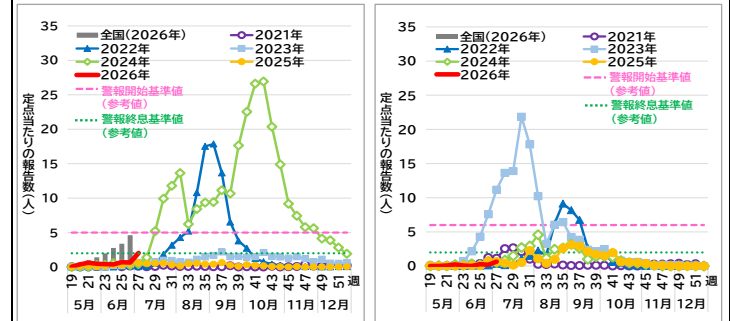


図 左:手足口病 右:ヘルパンギーナ 定点当たり報告数(2021年～2026年現在)

症状

手足口病は、手足や口の中などに水疱を伴う発疹が現れ、発熱を伴う場合があります。

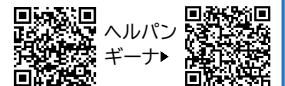
ヘルパンギーナは、38℃以上の突然の発熱やのどの痛み、口の中の水疱が数日続き、食欲不振や全身のだるさ、頭痛などを起こします。

共通の注意として、口の中の水疱により、食事や水分がとりにくくなり脱水症状を起こすことがあるため、水分補給を心がけましょう。

感染経路と予防方法

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染(便で排泄されたウイルスが口に入って感染すること)です。ワクチンはありませんので、予防するには日頃から流水や石けんによるこまめな手洗いが重要です。特におむつ交換時には注意が必要です。またタオルの共用は避けましょう。

上記は厚生労働省のウェブサイト加工・編集して作成しています。 手足口病▶ 詳細はこちらをご覧ください。



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

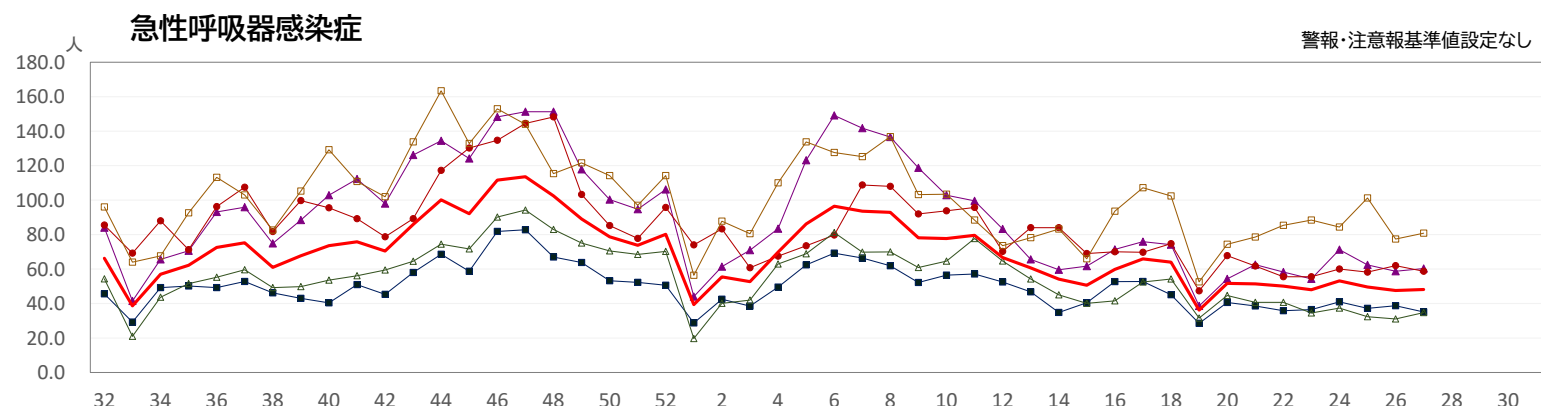
感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第1~27週
	第26週	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	176883 47.47	1806 47.53	1829 48.13	△	411 58.71	422 60.29	△	387 38.70	351 35.10	▽	248 62.00	235 58.75	▽	387 77.40	404 80.80	△	373 31.08	417 34.75	△	63248

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第27週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	131	924	377	167	31	22	47	32	29	16	30	23	1829	

< 定点当たり報告数グラフ >



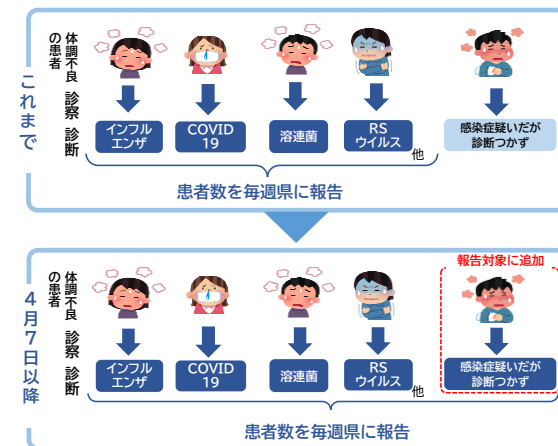
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶▶

